

第31回腎と脂質研究会

プログラム・抄録集

■日 時：2019年3月16日（土）
9時00分～18時15分

■会 場：栄ガスホール（栄ガスビル内5F）
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-15-33
TEL：052-243-0881

■当番世話人：丸山 彰一
(名古屋大学大学院医学系研究科 病態内科学講座 腎臓内科学教授)

目次

第31回腎と脂質研究会

当番世話人のご挨拶	p.3
役員一覧	p.4
交通案内図	p.6
会場案内図	p.7
参加者へのお知らせ	p.8
プログラム	p.12
基調講演	p.18
招待講演	p.20
ランチョンセミナー抄録	p.22
指定講演	p.24
特別講演	p.28
一般演題抄録	p.32
謝辞	p.50

ご挨拶



第31回腎と脂質研究会

当番世話人 丸山 彰一

(名古屋大学大学院医学系研究科腎臓内科学)

このたび、第31回「腎と脂質研究会」の当番世話人を拝命いたしましたので、ひとことご挨拶申し上げます。

動脈硬化の予防と進行抑制における脂質管理の重要性は広く認識されています。エビデンスに基づくCKDガイドライン2018においても、心血管病イベント発症の高リスク群であるCKD患者における脂質代謝異常管理の重要性が取り上げられています。少なくとも非透析CKD患者においては、脂質管理に心血管病発症抑制効果があることは認められていますが、腎機能低下抑制効果があるか否かについては、未だ十分なエビデンスがないようです。新たな薬剤が登場し治療の選択肢が広がる中で、CKD患者における脂質代謝管理については議論すべき課題が多く残っています。

一方、脂質異常症の治療には、単なる脂質管理を超えた効果も期待されています。スタチンの多面的効果は有名ですが、LDLアフェレーシス治療についても、過剰な脂質除去だけでなく各種炎症メディエータの除去を介した腎障害抑制効果が提唱されています。特に本研究会による研究成果が本邦におけるLDLアフェレーシスの保険適用につながったことは、本会の誇るべき歴史です。

今回の「腎と脂質研究会」においては、脂質異常症の基礎的知見から臨床的意義まで幅広く取り上げるとともに、腎臓病に関する最新の話題も取り入れました。本研究会でのご講演・ご発表が先生方の日常診療の一助となれば幸いです。さらに、本研究会における議論が新たなエビデンスを創出するための研究につながることを期待いたします。

最後になりましたが、本研究会は多くの方々の多大なるご尽力により名古屋の地で開催することができました。ご発表の先生方、座長の先生方、研究会の顧問・世話人の先生方、ご支援いただきました企業の方々に心より感謝申し上げます。

第 31 回腎と脂質研究会

■日 時：2019年3月16日（土）9時00分～18時15分

■会 場：栄ガスホール（栄ガスビル内 5F）
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-15-33

■顧 問：深大寺レジデンス
医療法人社団全仁会上野病院
医療法人博文会児玉病院
医療法人蒼龍会井上病院
一般社団法人広島腎臓機構
特定医療法人社団三光会 三光クリニック
社会医療法人名古屋記念財団金山クリニック
医療法人社団やよい会あだち江北メディカルクリニック
医療法人良秀会藤井病院
京都華頂大学現代家政学部・食物栄養学科
独立行政法人地域医療機能推進機構 JCHO 東京高輪病院
独立行政法人労働者健康福祉機構福島労災病院

酒井 聡一
小椋 陽介
湯川 進
西澤 良記
頼岡 徳在
斉藤 喬雄
杉山 敏
飯野 靖彦
宗 正敏
武曾 恵理
木村健二郎
渡辺 毅

■代表世話人：藤田医科大学医学部 湯澤 由紀夫

■世 話 人：昭和大学医学部
東京女子医科大学腎臓病センター
金沢医科大学大学医学部
東北大学大学院薬学研究科
帝京大学医学部
金沢大学医薬保健研究域医学系
大阪市立大学大学院医学研究科
近畿大学医学部
医療法人小田内科クリニック
静岡県立総合病院
福井大学医学部附属病院
東北医科薬科大学
香川大学医学部
名古屋大学大学院医学系研究科
東京大学大学院医学系研究科
宮崎大学医学部

平野 勉
服部 元史
横山 仁
佐藤 博
内田 俊也
和田 隆志
庄司 哲雄
竹村 司
小田 弘明
森 潔
木村 秀樹
伊藤 修
西山 成
丸山 彰一
稲城 玲子
藤元 昭一

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院
順天堂大学医学部・大学院医学研究科
昭和大学江東豊洲病院
東京女子医科大学
奈良県立医科大学

塚本 達雄
鈴木 祐介
本田 浩一
馬場園哲也
鶴屋 和彦

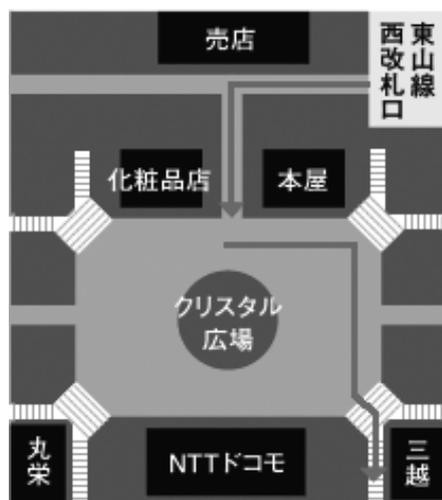
■代表事務局：藤田医科大学医学部
藤田医科大学医学部

稲熊 大城
小出 滋久

■当番世話人：丸山 彰一
(名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座 腎臓内科学)

交通案内

地下鉄「栄」駅西改札口から
「サカエチカ6番出口」までの案内



■地下鉄ご利用の場合

【東山線・名城線】

「栄」駅下車 西改札口より三越方面
サカエチカ 6 番出口 徒歩 5 分

【名城線】

「矢場町」駅下車 北改札口より 6 番出口 徒歩 3 分

■名古屋駅からのアクセス

【地下鉄 東山線】

藤が丘行きに乗車 4 分、「栄」駅下車 徒歩 5 分

■中部国際空港セントレアからのアクセス

【名鉄空港線】→【地下鉄名城線】

名鉄名古屋方面行きに乗車 24 分（最速）

「金山」駅下車

↓

金山駅より地下鉄名城線右回りに乗車 5 分

「矢場町」駅下車 北改札口より 6 番出口 徒歩 3 分

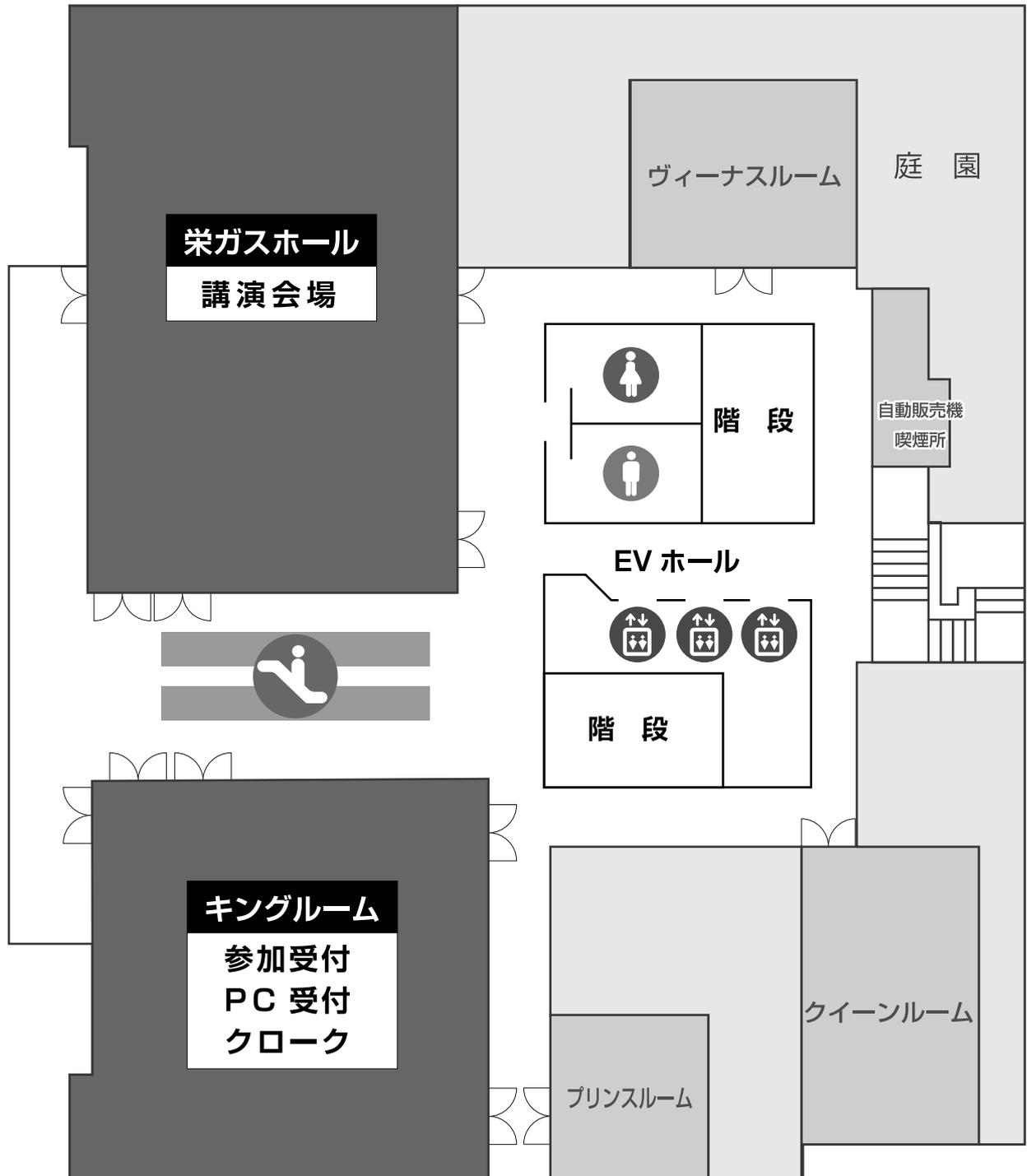
■お車ご利用の場合

名古屋高速 白川出口 東新町出口からお越しいただくと便利です。



会場案内

栄ガスビル 内 5F



参加者へのお知らせ

■参加受付

- 日時 3月16日(土) 8時30分～
- 場所 栄ガスビル 5F キングルーム内
- 参加費 医師・メディカルスタッフ 2,000円
学部学生 無料(学生証の提示必須)

■クローク

- 日時 3月16日(土) 8時30分～18時30分
 - 場所 栄ガスビル 5F キングルーム内
- ※貴重品・壊れ物(PC含む)・傘は、原則お預かりできませんのでご了承ください。

■PC受付

- 日時 3月16日(土) 8時30分～
- 場所 栄ガスビル 5F キングルーム内

■プログラム・抄録集

会員の方には、事前にプログラム・抄録集を郵送しております。忘れずにご持参ください。
当日、受付にてご希望の方にはプログラム・抄録集を1冊1,000円で販売いたします。

■座長の方へのご案内

1. ご来場されましたら、5F キングルーム内の座長受付にお越しください。
2. ご担当されるセッションの開始10分前までに会場前方の「次座長席」にご着席ください。
3. セッションの開始、終了のアナウンスはありません。定刻になりましたら開始してください。
4. プログラムの定時進行にご配慮いただきますようお願いいたします。

■演者の方へのご案内

●一般演題の口演時間

発表6分・討論2分 合計8分

※発表時間の終了1分前に黄ランプ、終了は赤ランプでお知らせいたします。

●講演方法について

1. 発表・討論時間は時間厳守でお願いします。
2. 発表は全てPCプレゼンテーション(PowerPoint)による発表です。
3. 演者は発表時間の25分前までに5F キングルーム内のPC受付にお越しいただき、発表データの受付・試写を行ってください。

4. 発表データは USB メモリーに保存してお持ちください。Macintosh を使用される場合及び動画・音声を使用される場合は、ご自身の PC 本体をお持ちください。
また、接続は MiniD-Sub15 ピン 3 列コネクタとなります。
※パソコンの外部モニター端子の形状を必ず確認し、必要な場合は接続端子をご持参ください。
※使用できる PC の OS は Windows10、アプリケーションは PowerPoint2010～2016 です。
5. フォントは OS 標準で装備されているものをご使用ください。画面レイアウトの崩れを防ぐには、MS ゴシック、MS 明朝、Times New Roman または Century のご使用をお勧めいたします。
6. 画面の解像度は、XGA (1024 × 768) まで対応可能です。

●利益相反 (COI) の開示について

1. 第 31 回腎と脂質研究会 (2019 年) より、発表者には利益相反 (COI) の開示を行っていただきます。腎と脂質研究会ホームページをご参照いただき、演題発表時に下記要領にて開示を行なってください。
2. 発表者は発表演題に関する利益相反 (COI) を、当日発表スライドの最初 (または演題・発表者などを紹介するスライドの次) に写してください。下記様式の通りに利益相反 (COI) の開示をしてください。

**腎と脂質研究会
COI 開示**

発表者名: 〇〇〇〇、〇〇〇〇、*〇〇〇〇(*代表者)
□研究倫理・医療倫理に関する研修を受講しました

過去3年間において
演題発表内容に関連し、開示すべきCOI関係(過去3年間)にある企業

役員・顧問職: A株式会社
株式保有・利益: B株式会社
特許使用料: C製薬
講演料: D製薬・E製薬
原稿料: F製薬
委託研究・共同研究費: G製薬
寄附寄付金: H製薬・I製薬
寄付贈送所属: J製薬・K株式会社
旅行・贈答品: L製薬

開示すべき内容がある項目
のみ企業名を記載

開示すべき COI がある場合

**腎と脂質研究会
COI 開示**

発表者名: 〇〇〇〇、〇〇〇〇、*〇〇〇〇(*代表者)
□研究倫理・医療倫理に関する研修を受講しました

過去3年間において
演題発表内容に関連し、発表者らに開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

開示すべき COI がなしの場合